

ボランティア活動振興助成金 ささえあい応援金



公開審査会終了！ 助成額決定しました

去る6月21日(土)、ボランティア活動振興助成金・ささえあい応援金の公開審査会が開かれ、申請する10団体が集まり、熱いプレゼンテーションを繰り広げました。

プレゼンテーションは芝居あり、フィットネスのパフォーマンスあり、一人での熱弁ありと多種多様。審査員のみならず、会場に集まった関係者一同臨場感あふれる場を共有しました。



芝居やクイズで場内を盛り上げるプレゼンテーション

今年度、ささえあい応援金(ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク事業)が上限10万円とあって、激戦となりました。助成額の決定はさらに白熱し、申請団体にとっては悲喜こもごもの審査会となりました。(助成額の表参照)

また、毎年恒例の特別審査員が大活躍！ 今年も、中学生から短大生までの若者の6人が参加。次々繰り出される質問や意見に申請者も審査員もたじたじ。しかし、大人も負けてはいられません。審査員からも厳しい質問や意見



婚活事業の資料を見て「男性が女性の分のコーヒー代を払うのはなぜですか？」という質問が中学生から。会場内からどよめきが・・・。



審査員からは、「もっと多様な資源が使えるのでは?」「その後の展開を明確に話してください」などの意見も。



が遠慮なく飛び出します！ 申請者はそれに答えるため必死です。

毎年そうですが、この助成金は申請の相談から事業実施までボランティアセンターや支援ネットと一緒に作り上げていくというコンセプト。初めて申請するみなさんにとっては、さらに大きな事業への挑戦

につながります。厳しい意見だけでなく、温かいアドバイスがもらえるのも特徴。この公開審査会そのものが学びの場ともなるのです。

一通りプレゼンテーションが終わり、審査員の採点。赤・緑・黄色のシールの数で助成額が決まります。

そして、ここからがこの審査会のおもしろいところ。審査員の貼ったシールに対して、もう一押ししたい団体が発言を許されています。申請額の満額にならなかった団体からも審査員からも意見や反論が出されます。まさに丁々発止のやりとり。審査員の中でも意見が割れます。特別審査員の意見もここで考慮されます。



そして、最後は全員納得の上(?)助成額が決定しました。審査の全てが公開で行われるこの審査会は、全国でもめずらしいのではないのでしょうか。申請団体のみなさま、審査員のみなさま、お疲れ様でした！



ボランティア活動振興事業助成金 26年度申請団体一覧

団体名	事業名	決定額(円)
ブルースカイ出会いの広場	婚活セミナー	30,000
「ながの祇園祭」おもてなし隊	地域住民の一層の交流	50,000
チワワすまいるプロジェクト	チワワすまいるプロジェクト	50,000
おやこ楽校	おやこ楽校	50,000
長野なかじょうテレビ局NNTV)	中条地区の情報発信及び棚田風景保存のための手作りビデオ制作事業)	50,000
食育劇団ええ〜っこ	「食育劇」を通じた長野の食・農・祭り発信事業	40,000
ささえあい応援金 26年度助成団体		
団体名	事業名	決定額(円)
まちの縁側はくぐみプロジェクトながの	まちの縁側楽会	100,000
共和読みがたりの会「ひめりんご」	郷土に伝わるお話の紙芝居化とその上演他	100,000
ながの子どもと本を結ぶ市民の会	3才前後の子どもと本の発達やそれに合った本についての知識を深めてもらうための講演会開催	50,000
ながの子育てネット	長野市の子育て応援団一覧ブックの製作・発行	50,000